GROHE
Bath

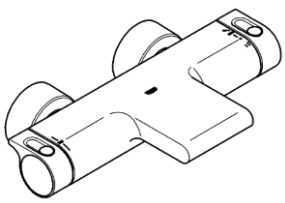
Pure Freude an Wasser

サーモスタットバスシャワー混合栓 据付説明書
（お客様にお渡しください）

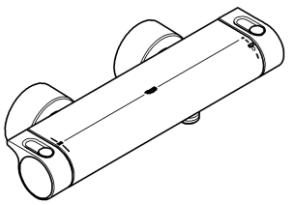
- □ 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- □ この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- □ 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- □ 施工完了後は、この説明書を同梱の取扱説明書とあわせてお客様にお渡しください。

グローサーモ2000

バス・シャワー混合栓

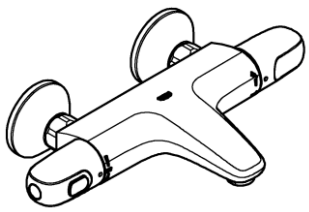


シャワー混合栓

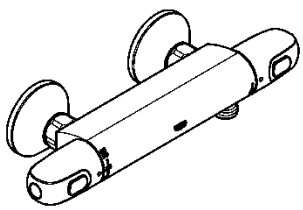


グローサーモ1000

バス・シャワー混合栓

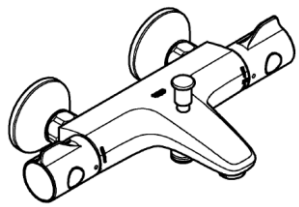


シャワー混合栓

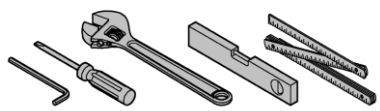


グローサーモ800

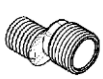
バス・シャワー混合栓



【必要工具】
※ その他、現地で必要とする工具をご用意ください。



【水栓取り付け部品（インレット）について】
本製品の取付け部品（インレット）は標準インレットと別売品を含めて4種類あります。
必ず現場環境等に合ったインレットをご使用いただき、それぞれの施工方法どおりに施工してください。

標準インレット 	湯水配管ピッチ：150±15mm ・逆流防止	＜別売品＞ ストレートインレット +逆止弁 	湯水配管ピッチ：150±3mm ユニットバスのアダプターへ接続 ・逆流防止
＜別売品＞ インレット1/2 “ （偏心寸法±50mm） 	湯水配管ピッチ：200+50 -120mm ・逆流防止・止水機能・ストレーナー ・水抜栓付（寒冷地仕様のみ） ・内圧防止機能付き （室内温度が高温になる浴室乾燥機等ご使用の際におすすめです）	＜別売品＞ インレット1/2 “ （偏心寸法±5mm） 	湯水配管ピッチ：150±2mm ・逆流防止・止水機能・ストレーナー ・水抜栓付（寒冷地仕様のみ）

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。
※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

固定の際は、強度の高い壁面（補強のうら板等）にしっかりと取付けてください。
※器具が落下し、思わぬケガをする恐れがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。
※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

使用条件

●給水、給湯圧力
◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合
最低必要圧力0.05MPa〔0.5kgf/㎠〕（流動圧）～最高圧力0.74MPa〔7.5kgf/㎠〕（静水圧）の範囲とします。
給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。
やむなく圧力差が生じる場合は最大3：1以内になるようにしてください。
（例：給水圧力0.2/給湯圧力0.2、給水圧力0.6/給湯圧力0.2などのように設定ください）
◇給水圧力が0.74MPa〔7.5kgf/㎠〕を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。
●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。
●給湯に蒸気を使用しないでください。
●給湯器からの出湯温度は、使用する温度より10℃以上高くしてください。

据付前の注意

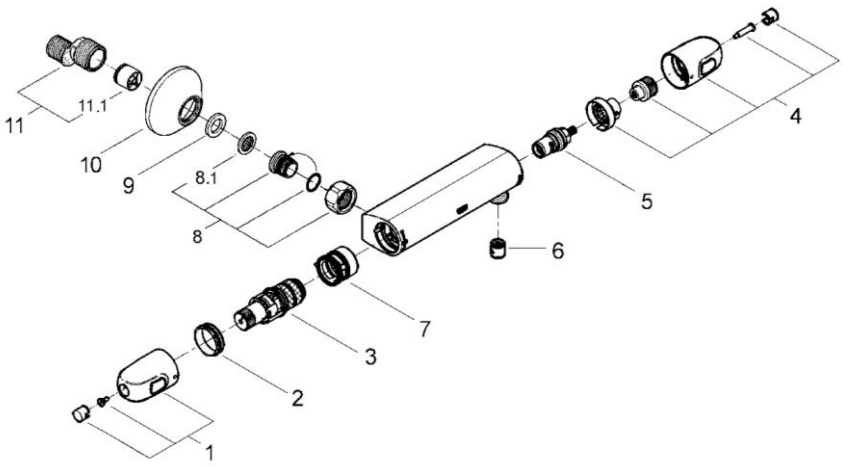
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
●給水は上水道に接続してください。
※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。
●必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。
●取付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。
●本体をのガタつき防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。
●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません
●浴室乾燥機、スチーム等で室内温度が高温になる場合は、インレット1/2″（偏心寸法±50mm）をご使用ください。
弊社インレット1/2“（偏心寸法±50mm）には内圧防止機能がついているため温度変化による破損を防止することが出来ます。

据付準備

分解図

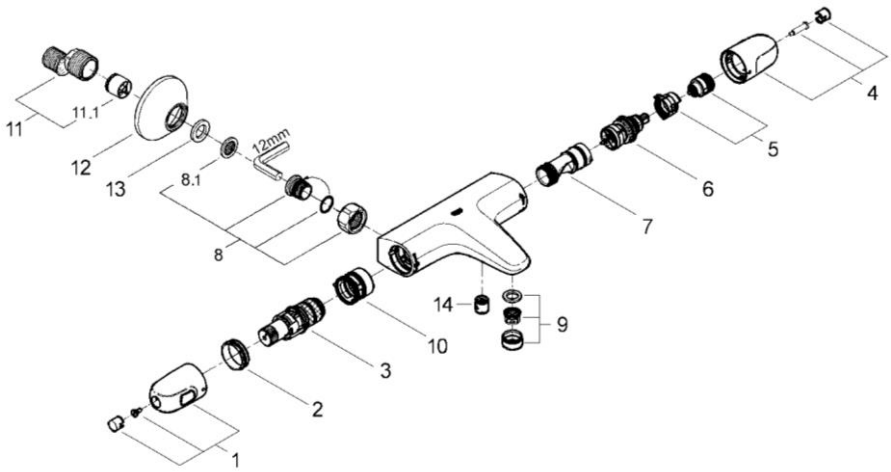
※欠品、キズ等が無いか据付前に必ず確認してください。万一欠品、キズ等があった場合はご購入先へ早めのご連絡をお願いいたします。

シャワー混合栓



図番	名称
1	温度調整ハンドル
2	固定ナット
3	サーモスタットカートリッジ
4	開閉ハンドル
5	ヘッドパーツ
6	逆止弁（15mm）
7	アダプター
8	袋ナットセット
8.1	ストレーナー
9	3/4 “パッキン
10	化粧プレート （フランジ、カバー）
11	インレット（偏心）
11.1	逆止弁（20mm）

バス・シャワー混合栓

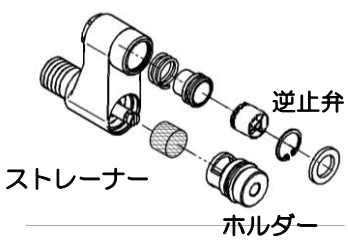


図番	名称
1	温度調整ハンドル
2	固定ナット
3	サーモスタットカートリッジ
4	開閉切替ハンドル
5	インサートセット
6	アクアディマー
7	混合筒
8	袋ナットセット
8.1	ストレーナー
9	エアレーター
10	アダプター
11	インレット（偏心）
11.1	逆止弁（20mm）
12	化粧プレート （フランジ、カバー）
13	3/4 “パッキン
14	逆止弁（15mm）

【水栓取り付け部品（インレット）について】

本製品の取付け部品（インレット）は4種類あります。別売インレットの分解図は下図にてご確認ください。

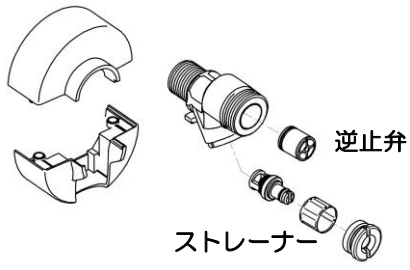
インレット1/2“（偏心寸法±50mm）



ストレートインレット+逆止弁



インレット1/2″（偏心寸法±5mm）



据付準備

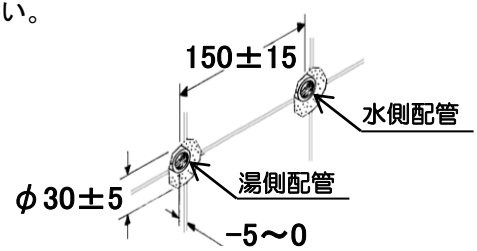
1．インレットの取付け

注意

・本製品の取付け部品（インレット）は4種類あります。必ず現場環境等に合ったインレットをご使用いただき、それぞれの施工方法をご確認のうえ施工してください。
・配管位置と取出し穴の寸法は規定寸法を守ってください。壁面に隙間があいたり、本体が取り付かない場合があります。
・インレットのねじ込みは規定寸法を守ってください。壁面に隙間があいたり、本体が取り付かない場合があります。

（1）偏心インレットの取付け

1. 給水・給湯配管の位置と取出し穴の寸法を確認してください。



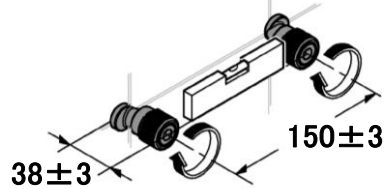
注意

配管位置と取出し穴の寸法は規定寸法を守ってください。

2. インレットの配管側ねじ部にシール材（シールテープ等）を巻き付けます。



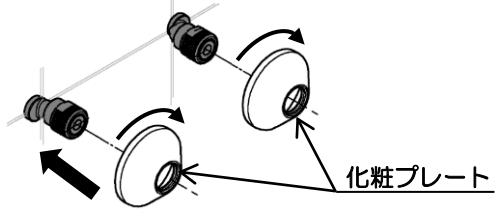
3. 湯水配管ねじ部にインレットをねじ込みます。



注意

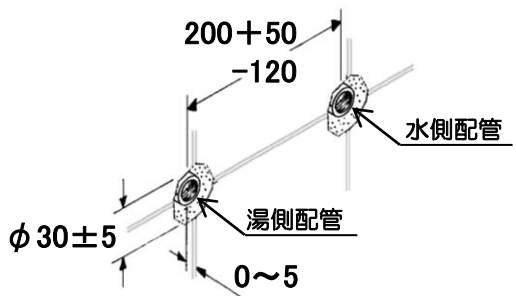
・インレットのねじ込みは規定寸法を守ってください。
・一度ねじ込んだ取付脚は決して戻し方向には回さないようにしてください。
※シール不良となり漏水の原因となります。

4. インレット本体取付ネジ部にフランジを壁面にあたるまで手で右回しにいっぱいまでねじ込みます。



（2）インレット1/2″（偏心寸法±50mm）の取付け

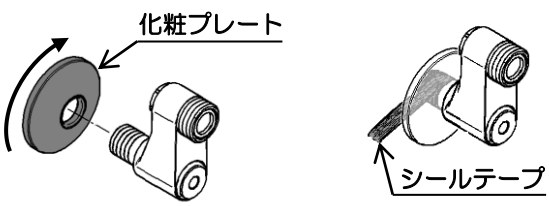
1. 給水・給湯配管の位置と取出し穴の寸法を確認します。



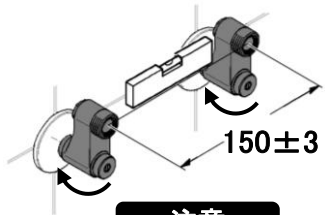
注意

配管位置と取出し穴の寸法は規定寸法を守ってください。

2. 配管側のねじ部に化粧プレートをねじ込み、配管側ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けます。



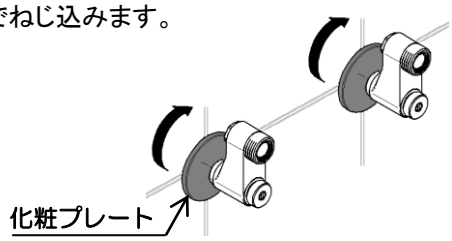
3. インレット先端中心間の距離が150mmになるよう注意しながら、湯水配管ねじ部にインレットをねじ込みます。



注意

・インレットのねじ込みは規定寸法を守ってください。
・一度ねじ込んだ取付脚は決して戻し方向には回さないようにしてください。
※シール不良となり漏水の原因となります。

4. 化粧プレートを壁面にあたるまで手で右回しにいっぱいまでねじ込みます。

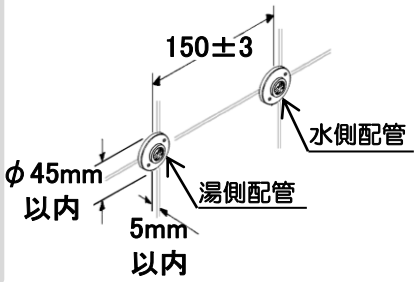


据付準備

1. インレットの取付け

(3)ストレートインレットの取付け

1. 給水・給湯配管の間隔はあらかじめ
中心間の距離で150㎜になるように調整してください。

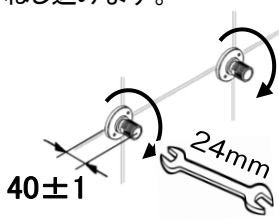


注意
配管位置とアダプターの寸法は規定寸法を守ってください。

2. 配管側ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けます。

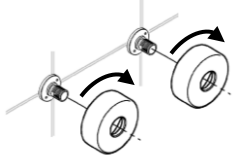


3. インレット胴体部を工具(24㎜スパナ)等で湯水配管にねじ込みます。



注意
・インレットのねじ込みは規定寸法を守ってください。
・一度ねじ込んだ取付脚は決して戻し方向には回さないようにしてください。
※シール不良となり漏水の原因となります。

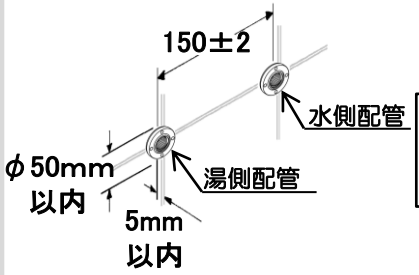
4. フランジをインレット本体に取付け、壁面にあたるまで手でねじ込みます。



注意
フランジは標準インレットのものを使用するか、同梱、支給させている部材を確認してください。

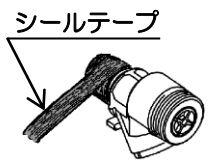
(4)インレット1/2″(偏心寸法±5mm)

1. 給水・給湯配管の間隔はあらかじめ
中心間の距離で150㎜になるよう調整してください。

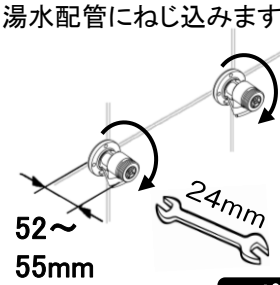


注意
配管位置とアダプターの寸法は規定寸法を守ってください。

2. 配管側ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けます。

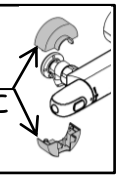


3. インレット胴体部を工具(24㎜スパナ)等で湯水配管にねじ込みます。



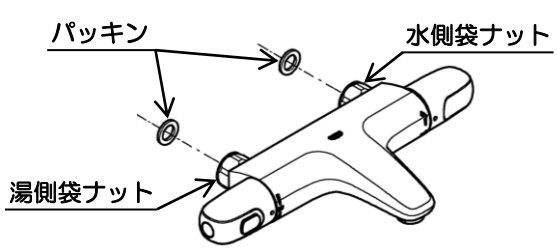
注意
・インレットのねじ込みは規定寸法を守ってください。
・一度ねじ込んだ取付脚は決して戻し方向には回さないようにしてください。
※シール不良となり漏水の原因となります。

ポイント
インレットのカバーは、インレットへ水栓本体を取付後に組付けます。

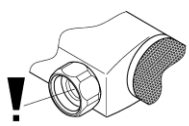


2. 本体の取付け

1. 本体湯水の袋ナットにパッキンを取付けます。

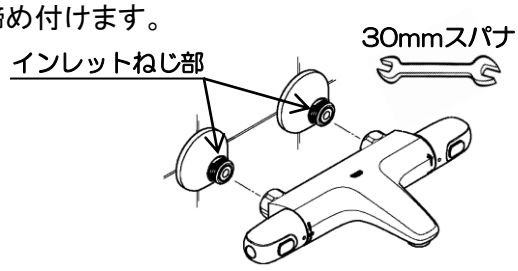


注意



湯側・水側袋ナット内部にストレーナーが取り付けられていることを確認してください。

2. インレットのネジ部に本体湯水の袋ナットを工具(30㎜スパナ)等で交互に少しづつねじ込み締め付けます。



注意
※締付は、200～300kgf･cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。
※寒冷地用、200㎜ピッチインレットにはストレーナが内臓されているため、本体の袋ナットのパッキンのみとなります。

施工手順

3. 温度設定の調整

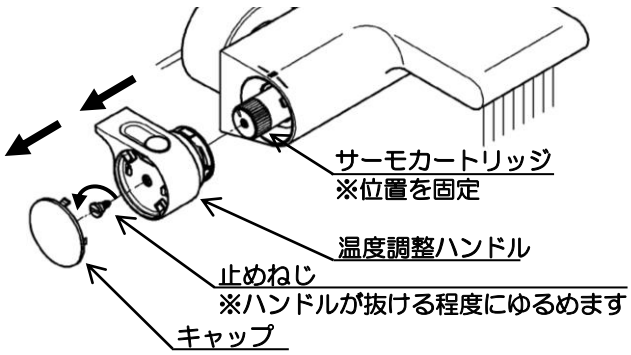
吐出温度と温度調整ハンドルの数字が合わないときは、以下の方法で温度設定を調整してください

1. 開閉ハンドルを全開し、温度調整ハンドルを温度目盛に関係なく38℃の温度が得られる位置まで回します。



2. 温度調整ハンドルが回らないよう位置決めし、キャップを取外し、止めねじをゆるめて温度調整ハンドルを取り外します。

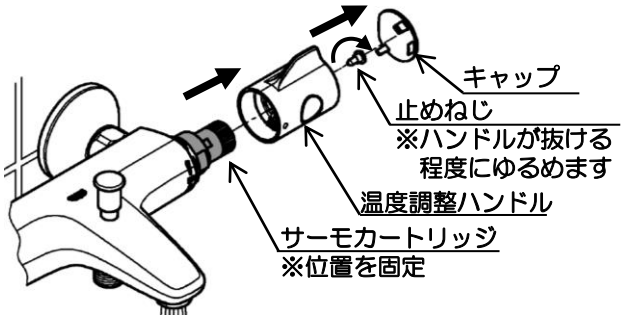
グローサーモ2000



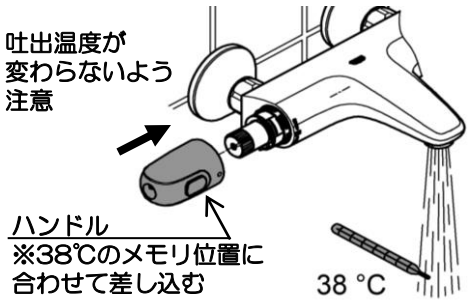
グローサーモ1000



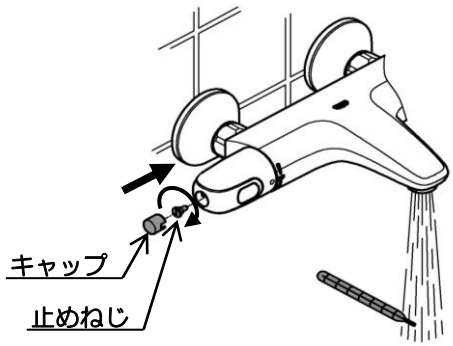
グローサーモ800



3. 水栓本体の温度目盛「38」(湯水表示中央)と温度調整ハンドルの温度位置マークが合うように差し込みます。



4. 温度調整ハンドルが回らないようしっかり固定しながら止めねじを締め、キャップをはめ込みます。



注意

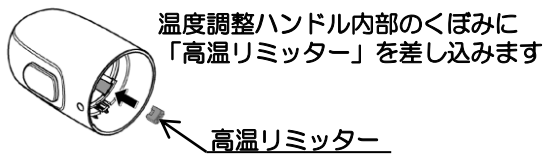
適温が得られない場合は以下の原因が考えられます。

●熱湯と水にしかならない ⇒ 逆配管である
⇒ サーモスタットのごみづまり
●適温からすぐ水になる ⇒ 水圧が異常に高すぎる

【高温リミッターについて】

高温リミッターを取付けると温度調整ハンドルが最高温度まで回らないようにすることが出来ます。
※高温リミッター取付け時の最高温度は約43℃ですが、給湯温度により変動があります。

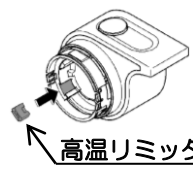
グローサーモ1000



グローサーモ800



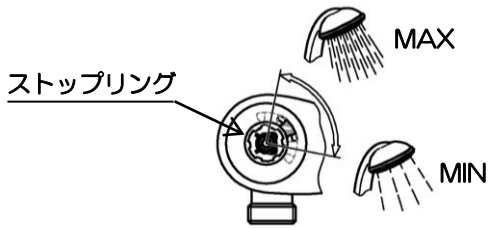
グローサーモ2000



施工手順

4. 節水機能の確認と調整

開閉ハンドルのストップリングを調整することで
節水ボタンの作動角度を変えることが出来ます。
流量が少なすぎるなどで節水ボタンの作動角度調整が
必要な場合は、以下の方法で調整してください。

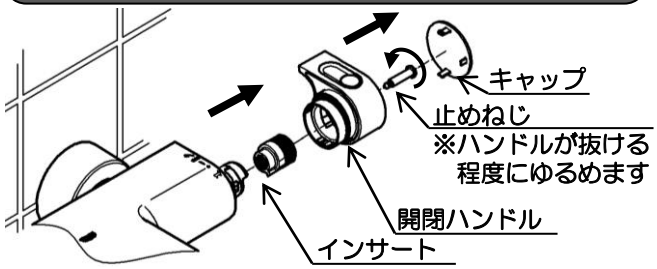


1. キャップを取外し、止めねじをゆるめて開閉ハンドルとインサートを取り外します。

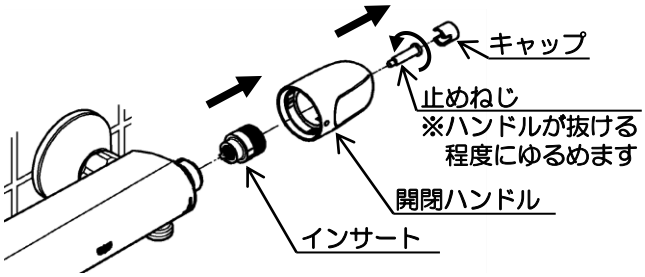
注意

取外した部品を無くさないようご注意ください。

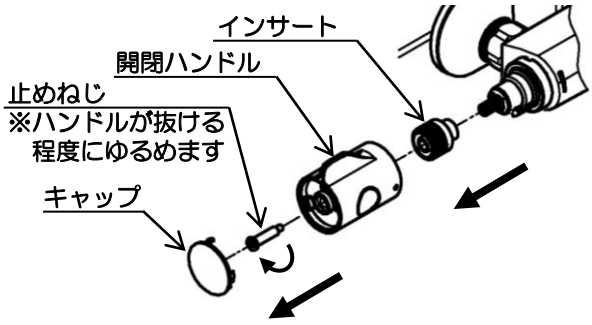
グローサーモ2000



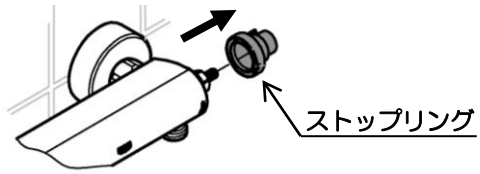
グローサーモ1000



グローサーモ800



3. ストップリングを入れ替えて、節水ボタンの動作位置を調整します。

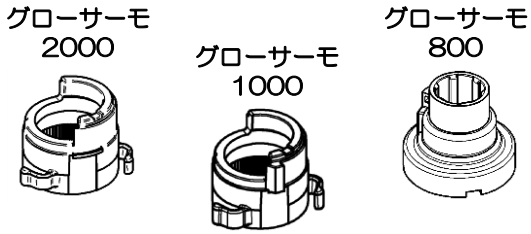


注意

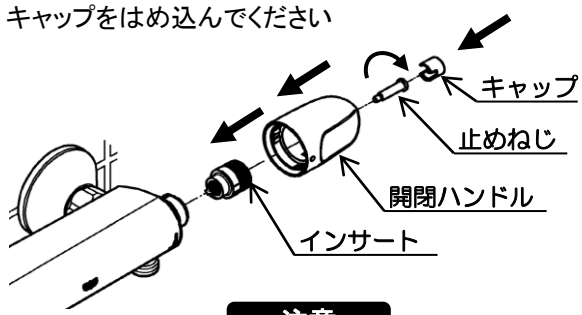
節水ボタンは納入時には約半回転の位置です。

注意

ストップリングの形状は機種により異なります。



4. インサートと開閉ハンドルを取付け、止めねじを締め、キャップをはめ込んでください



注意

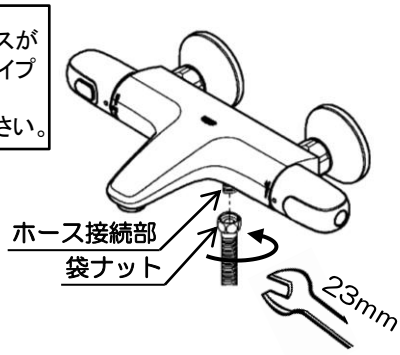
※ハンドル取付け後、再度節水ボタンの作動角度を必ず確認してください。
※設定した作動角度と異なる場合はストップリングの設定をもう一度確認してください。

施工手順

5. シャワーヘッド・ホースの取付け

1. 本体ホース接続部にホースの袋ナットを工具（23㎜スパナ等）を使用して取り付けます。

注意
ご使用のシャワーホースが工具を使用出来ないタイプの場合は、手締めでしっかりと取付けてください。



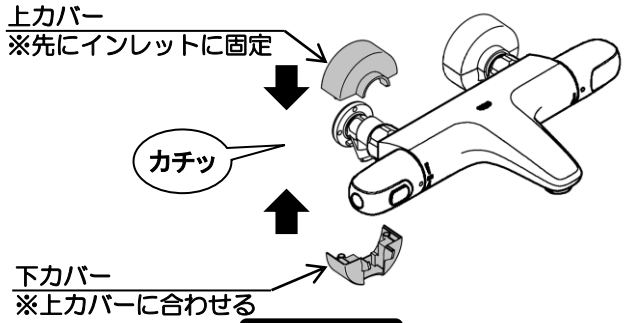
2. シャワーヘッド接続部にホースのテーパ袋ナット（フック取付用）を手でしっかり右回しにねじ込みます。



注意
- ・シャワーヘッドとシャワーホースは別売りです。
- ・シャワーヘッドは機種等によって接続方法が変わります。
- ・シャワーヘッドの取扱説明書をご覧ください。

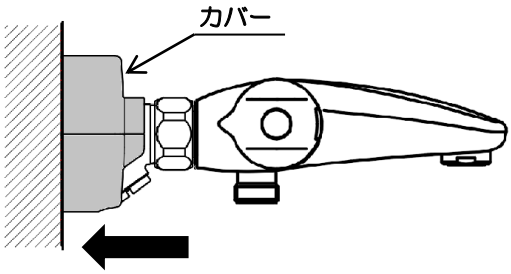
インレット1/2“（偏心寸法±5mm）のカバー取付け

1. 上下のカバーを組み付けます。



ポイント
上カバーを取付脚に固定し、位置決めに合わせて下カバーを組み付けてください。
※カチッとはまることを確認してください。

2. カバーを壁に押し当てます。

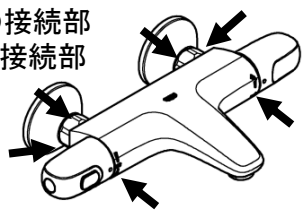


取付け後の確認

6. 通水確認

吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検してください。

- ●給湯管、給水管とインレットの接続部
- ●インレットと本体の接続部
- ●本体と温度ダイヤルの接続部
- ●本体と開閉ハンドルの接続部

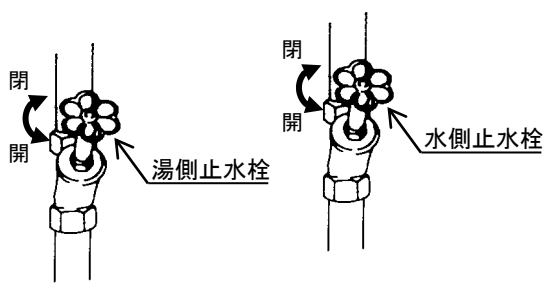


注意
特に給湯・給湯管とインレットの接続部は通水後漏水のない事を必ず確認してください。
万が一漏水が確認された場合パッキンを新品に取り替え、再度規定のトルクで締付を行ってください。

7. 水量・湯温の調節

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう止水栓で調節します。

- ●湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。
- ●インレット1/2“（偏心寸法±50mm）、インレット1/2“（偏心寸法±5mm）には、止水栓、流量調節栓が付属しています。



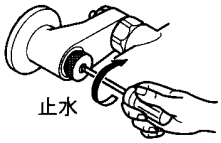
取付け後の確認

8. ストレーナーの清掃（インレット1/2″（偏心寸法±50mm）、インレット1/2″（偏心寸法±5mm）ご使用時）

施工直後にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

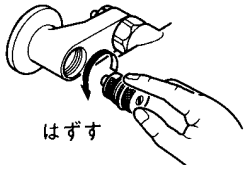
インレット1/2″（偏心寸法±50mm）のストレーナー清掃

1. 湯側（左側）と水側（右）の止水栓をドライバーで右に回し止水します。



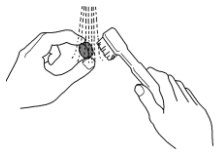
注意
※湯側・水側の両2ヶ所行って下さい。
※右側いっぱいまで回してください。

2. ホルダーを左に回し取り外します。





3. ホルダーからストレーナーを取外し、ストレーナのゴミを取り除きます。





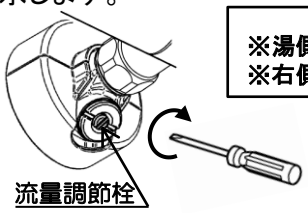
注意
※ストレーナの先端、ネジ部分等でケガをしないよう注意してください

4. ストレーナーを元通りに取り付け、止水栓を開けます。

注意
湯側と水側の2ヶ所行って下さい。

インレット1/2″（偏心寸法±5mm）のストレーナー清掃

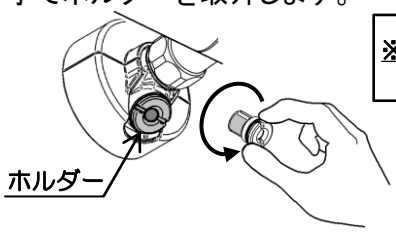
1. 湯側（左側）と水側（右）の流量調節栓を閉じて止水します。



注意
※湯側・水側の両2ヶ所行って下さい。
※右側いっぱいまで回してください。

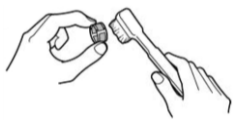
マイナスドライバーでしっかりと閉じます

2. 手でホルダーを取外します。



注意
※固い場合はゴム手袋等をご使用ください。

3. ストレーナのゴミを取り除きます。





注意
※ストレーナの先端、ネジ部分等でケガをしないよう注意してください

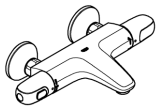
4. ストレーナーを元通りに取り付け、流量調節栓を開けます。

注意
湯側と水側の2ヶ所行って下さい。

9. エアレーターの清掃

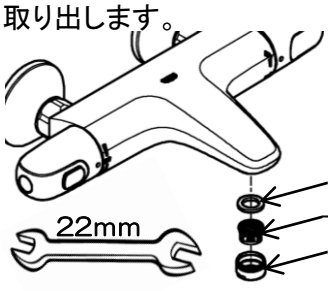
グローサーモ800 または グローサーモ1000 のバス・シャワー切替タイプ

1. 開閉ハンドルを止水状態にします。



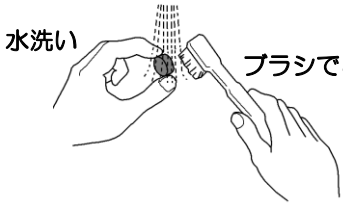
止水状態

2. 工具を使用してキャップを取外し、エアレーターを取り出します。



注意
※製品を傷つけないよう、製品と工具の間に布を当てて作業してください。

3. エアレーターに付いたゴミや汚れを取り除きます。



注意
・新品時にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。
・清掃後は、ゴム手袋などを使用して、確実にキャップを締め付けてください。

取付け後の確認

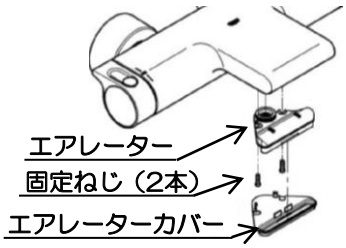
9. エアレーターの清掃

グローサーモ2000

1. 開閉ハンドルを止水状態にします。
2. エアレーターカバー、固定ねじ、エアレーターの順で取外します。

注意

※製品を傷つけないよう、ご注意ください。



注意

※固定ねじは仕様変更に伴い、製品・補給部品ともに「六角穴」と「ポジドライブ」の2種類が混在しています。現物の頭部形状を確認の上、適合する工具をご使用ください。
・六角穴：六角棒レンチ（対辺2.5mm）
・ポジドライブ：ポジドライブドライバー「PZ1」
（※通常のプラス不可）
（※作業時は両方の工具の携行を推奨します）

3. エアレーターに付いたゴミや汚れを取り除きます。

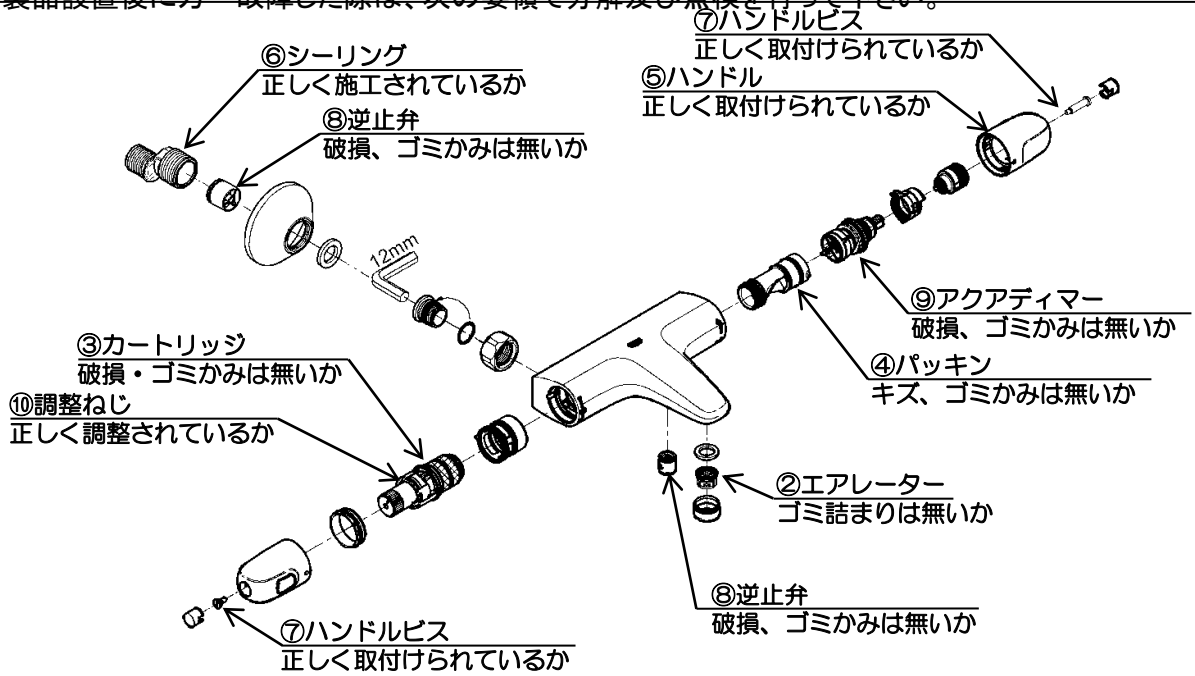


注意

・新品時にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。
・清掃後は、エアレーターを元通りに取付けてからご使用ください。

故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



現象	点検箇所
吐水量が少ない	①②⑧⑨
水が止まらない	④⑨
ハンドルがガタつく	⑤⑦
温度不良	①③⑧⑩
壁面より漏水する	⑥
シャワーに切り替わらない	⑨

①止水栓
全開されているか
圧力は十分か？

